

ひだまり

2025年1月号

建交労女性部発行
東京都新宿区百人町 4-7-2
TEL 03 (3360) 8021

第25回
大阪で開催

集まってしゃべって楽しや 女性部大会

11月8日、第35回定期大会を大阪関西支部会館で開催し、13都府県から34人が参加しました。

議長選出、井上女性部長の挨拶の後、岡元関西支部顧問(現地挨拶)は11労組による統一交渉の成果を示し「一致点に基づく要求闘争を」と呼びかける挨拶をされました。角田前中央執行委員長は「100才の母と猫との暮らし」を近況報告、ジェンダー平等をめざす女性部運動の必要性を話されました。その後山本事務局長より活動報告・方針提案、後半では各地域からの報告がありました。

福岡大牟田では職業病患者の社会復帰の支援や原発、農業問題など幅広く学習したこと、島根からは清掃業務を行う事業団に所属し松江市と交渉して仕事をもらえるようになったこと、長野ではひとりぼっちの指導員をなくそうを合言葉に要求アンケートを県内300か所の学童に送ったこと、沖縄からは認可保育園を組織化したことが組合活動の始まりだったことや米軍基地の実態などが語られました。

兵庫、愛知からは会計年度任用職員制度の問題やとりくみが話されました。京都、新潟、東京の女性部では、折り鶴プロジェクトなど平和活動、憲法カフェ、ひとり組合員との食事会、カレンダー作りで交流、ニュース発行など多彩な活動が報告されました。また自己紹介を兼ねた一言発言を全員が行い、業種が各々違

う建交労の特色が感じられる内容でした。その後、提案事項と大会宣言、役員体制は満場一致の拍手で確認され、最後に団結頑張ろうで締めくくりました。(建交労雑誌版 2025年1月号に記事掲載)



井上女性部長



↑現地歓迎あいさつする金丸委員
↓挨拶する岡元関西支部顧問・角田前執行委員長



↑議長の三井さんと廣川さん 中央は山本事務局長
↓江部委員、広瀬委員、永島委員



25期女性部委員

部長	井上 玉紀	(徳島)
事務局長	山本 由里子	(本部)
次長	江部 明子	(東京)
委員	渋谷 ひろみ	(埼玉)
委員	永島 公美	(新潟)
委員	廣瀬 久子	(愛知)
委員	坂田 美紀子	(京都)
委員	金丸 涼子	(大阪)
委員	小島 マリ子	(兵庫)
委員	秋月 のり子	(福岡)



これまで女性部活動に力を尽くされた磯野紀子さん(長野)が退任されました。長い間お疲れ様でした。



大久保さん(福岡)、多田さん(福岡)、水本さん(島根)、當間さん(沖縄)、宇津井さん(東京)



三井さん(愛知)、廣川さん(東京)、国賀さん(兵庫)、北條さん(新潟)、秋山さん(東京)、粕川さん(大阪)

《感想文より》

- ★討論での活発な発言、わかりやすい活動報告に笑える話。特に元気をもらえる貴重な機会です。(東京・秋山)
- ★皆さん和やかで言いたいことをいったり、気兼ねなく話せることが楽しい。聞いていても楽しい。(東京・宇津井)
- ★大会の企画・学習会、毎回考えていただき、とても勉強になり、その時学習したことは帰ってからまわりに伝えていきます。大会は各地の代議員の方とお話できてすごくいいと思います。今回は日本母親大会で沖縄の話聞いていたので、その時のことを話し、今の沖縄の様子も話していただきました。(京都・浦田)



細見さん(兵庫)、倉島さん(長野)、小穴さん(長野)



浦田さん、森谷さん、佐々木さん(京都)

★去年に続き 2 回目の参加。昨年は極度の緊張状態で参加した私ですが、「今回は楽しく参加できるはず」と期待と修行の気持ちでの参加です。会場に入ったら数名から声をかけてもらったことが嬉しくホッとしました。大会が始まり議案書の中の情報量や熱意に圧倒されましたが、無知な私としては細かく教えていただきたいことばかりでした。各地域からの報告は皆さんが前向きに頑張っている様子が目に浮かび、私自身も活力をいただきました。またみなさんとお会いできることを楽しみにしています。(長野・小穴)



愛知の物販。廣瀬さん手製のマスコットや着物帯のリメイク飾り、駄菓子など



《発言要旨》今年度末で名古屋市の保育園で働く非正規の私たち 1200 人を雇い止めにしないで！と記者会見や団体交渉を続けています。すでに試験が始まって再任用を優先すると市はいつているが、真面目に働いてきた人をいとも簡単に使い捨てにすることは許されない。11月7日の市交渉では泣きながら訴える人もいた。会計年度任用職員制度は絶対だめだということも訴えていく。あきらめずに頑張ります。(愛知・尾崎)



《発言要旨》角田さんの後に女性部長になり、コロナ時の引退から4年がたった。ライフワークは戦争にならないように、女性が権利を主張できるよう母親運動などにとりくんできた。心優しい全日自労の皆さんに育ててもらいありがとうございます。(福島・加藤)



《磯野さん退任挨拶》要旨
これまでで印象深いことが2つ。京都女性部とともに活動ができるようになったことと、廣木さんに出会えたこと。ながのバッグも長年取り組んできた。私は根っからのイベント屋、企画するのが本当に楽しい。今後も地元長野で活動していきます。

第2回ジェンダー学習「女性と子どもをとりまく現状と社会保障の現在と未来」

講師／寺内順子さん(大阪社会福祉協議会事務局長、シンママ大阪応援団代表理事)



★寺内さんのお話はデータから女性の貧困率の高さがわかったり、これほど男女の差があるのかとつくづく感じました。スペシャルボックスの話は審査なしで毎月必ず送るということに感動しました。ケアする人をケアする気持ちに基づいて取り組んでいる姿は素晴らしいと思い、私には何ができるのかと自問自答して考えさせられました。(長野・倉島) 小島委員→



★こんな活動をしてくださっている方がいる日本はあたたかいな～と思いました。私の周りのシングルマザーの人たちは、そうなったのは自分が選んだ道だし、自分がどうにか子どもを守らないと!と少し負い目に感じている気持ちと、母として強くありたいという気持ちを持っているように感じていました。なかなか「苦しい、助けて」と言えないような状況のような。。こんなにヘルプを出しやすく、生活と気持ちに寄り添った活動に出会えたお母さんたちは心から救われているだろうな、感激したお話でした。そして講演の中で年齢別の平均収入額の資料を見て、自分の息子の未来も厳しいな、、、と不安にも思いました。(長野・小穴)

★司会の方が「シンママ大阪応援団の活動を知っていたら」と紹介されましたがわかりませんでした。「何も聞かない、ないも言わないサポート」で、ご飯を一緒に食べる場所や、毎月食料や日用品を詰めた箱を全国に送り続ける活動をしておられます。そしていろいろな事情がある方が連絡してこられたとき、まず「ご飯食べた」の一言が私はホッとする暖かい気持ちを感じ、食事の大切さを考えました。本当に元気が出る活動だと思います。今回のお話を聞き活動を知ったことは私自身もまわりに知らせていくことができると思います。(京都・浦田)

★日本の女性と子どもが置かれている厳しい状況を再認識できた。寺内さんのお話は実践を通じた貴重なもので、大阪で定期大会が開催されたからこそ聞くことができたと思います。帰りの新幹線で「大丈夫?よりご飯食べよう」を全部読みました。労組活動にも生かせる視点を学びたい。(東京・廣川)

★今回初めて女性部の大会に参加、はじめは緊張していましたが、愛知学童保育支部の方たちが話しかけてくださりホッとしながら参加できました。学習会もすごく勉強になり特にコロナ禍でのシングルマザーの苦しい体験は涙が出そうでした。参加させ

ていただきありがとうございます。(島根・水本)

★日本の女性労働者、シンママのデータでみる実情と、大阪社保協の心に響く活動が聞けて勉強になりました。元気をもらいました。いいテーマと講師の方でした。(渋谷ひろみ)



★寺内順子さんのお話は2回目、今回も感動で司会しながら涙が出ました。審査なしで何も聞かず言わず必ず送るお米やお菓子。スペシャルボックスの箱を開けるときれいな色のお菓子の袋、ビールやケーキなどママの好みまで心遣いが素晴らしい。ケアする人をケアする。ママのためのお誕生日ケーキプロジェクトのママへのお手紙に感動。ママからのメッセージにまた感動。寄り添うとはこういうことだと思います。子育てする女性しか支援しないのが日本。胸に刺さります。何もわからない人達がいろんなことを決めていっているから。パリ市内がごみの山になってしまったフランスの女性や若者達のように、闘おう。微力でも無力ではない。(兵庫・小島)

★女性部大会や学習会に参加してきたので賃金格差等については認識していたが、絶対的貧困が一定数若年世代でもいることに驚きました。またここまで厚い活動をされている団体があることを初めて知り、こういった取り組みが全国に広がってくればよいなと思います。(東京・秋山)

★日本の母子(父子)家庭の国の援助が割とあるのは知っていたが、そもそも子どもの保護の観点から始まっているという説明に納得した。養護施設の子どもは途中で放り出される形にならないよう現場はお金の工面が大変だろうし、いきなりの一人暮らしは大変そう。金銭だけでなく社会・世間づきあい等、普通の家庭で知っていることを体験しないまま社会人になり急に社会に出されて困るだろうし、そういった部分にサポートがないものか。(京都・森谷)

★とても感動し、涙が止まらなかったです。身内にもシングルマザーがいるので他人ごとではなかったです。先生の活動には本当に頭が下がります。(東京・宇津井)

★いろんな背景があり考えさせられる内容でした。声のかけ方についても勉強になりました。(愛知・三井)

★学習内容には感動しました。やっぱり女性が活躍できる職場づくりが大切だと思いました。(京都・佐々木)



角田さん、加藤さん、磯野さん お疲れさまでした!

大阪名物もつ鍋と串カツの店「きっしやん」で交流会

夜は、交流会&慰労会を行いました。もつ鍋も串カツも、常には食しないメニューという人もいて、「大阪の味」を満喫しました。慰労会では、数年前の「女性部菜の花行動」の、ちょっとコミカルな思い出を寸劇で振り返り楽しみました。続いて慰労会ではお三方に6質問に答えてもらい、「レジェンド」の答えにみなさんうなずいたり笑ったり。これも楽しかったです。(3点のみ記載・カッコ内は建交労歴)

⑦大切にしてきたこと ①夢は実現してる? ②伝えたいこと

★角田さん(44年) ⑦苦しい時でも楽しむこと ①一步一步あるくのみ ③女性部のますますのご活躍を!

★加藤さん(62年) ⑦疑問に答えること ①新聞記者、しかし高校時代に挫折 ②一つ一つの取り組みが社会を変える大きな流れの中に

★磯野さん(36年) ⑦現場の仲間のレベルと一緒に考えがねること ①料理の先生、ちょっぴり実現。今は夫が料理長 ②今ここにきてジェンダー平等を言えることを力にして



粕川さんお手製のスモック。「え、これ着て歩くの恥ずかしいかも〜」「サイズ小さいんだけど、」

★11月3日へアドネーションをしました。今まで美容室で送ってくださったのが今回は自分で送ることになり、送付先が大阪。大阪は心暖かい人が多いと思いました。ホテルが1人部屋でのんびりゆっくりできたのはよかったです。(福岡・多田) ★おいしかった。本場の串揚げソースもちよっと違いますね。(東京・廣川) ★日帰りプランの金額設定があってもよかったかもです。(京都・森谷)

《大会を終えて》

全国の仲間と顔を見ながら交流ができ、持ち寄ったお菓子を食べながらリアル開催で女性部大会は本当に素晴らしいです。どんな薬より効く心の栄養剤ですね。角田さん、加藤さん、磯野さん、長い間ありがとうございました。いつでも女性部に遊びに来てください。いつまでもお元気でいてください。記念品選び(『建交労中央女性部』と個人名入りの水筒)も感慨ひとしおでした。(小島)



広島フェスタに参加しよう



2025年6月6日~8日
建交労フェスタ in 広島

女性部企画(7日)
「原爆被害フィールドワークと宮島観光」

★参加費等助成あり

★定員40名

女性部 2025 春闘は「ジェンダー平等」

ジェンダー平等をめざして各職場会議・集会等で討議し、春闘要求書の作成と提出、団体交渉を行います。「ジェンダー平等宣言」の学習会を行いましょう。

《今後の予定》

1月29日(水) 第1回女性部委員会(ZOOM)

3月6日(木) 全労連女性部菜の花行動(東京)